

チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成27年7月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、豊橋市、東浦町のブドウほ場では平年並ですが、南知多町、蒲郡市のカンキツほ場ではやや多く、発生時期もやや早い状況です（図）。

6月下旬に行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（ブドウ11及びカンキツ24ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）では、ブドウで1.6頭（平年5.1頭、前年4.6頭）、カンキツで14.8頭（平年9.3頭、前年11.4頭）で、ブドウではやや少なく、カンキツではやや多い発生量でした。

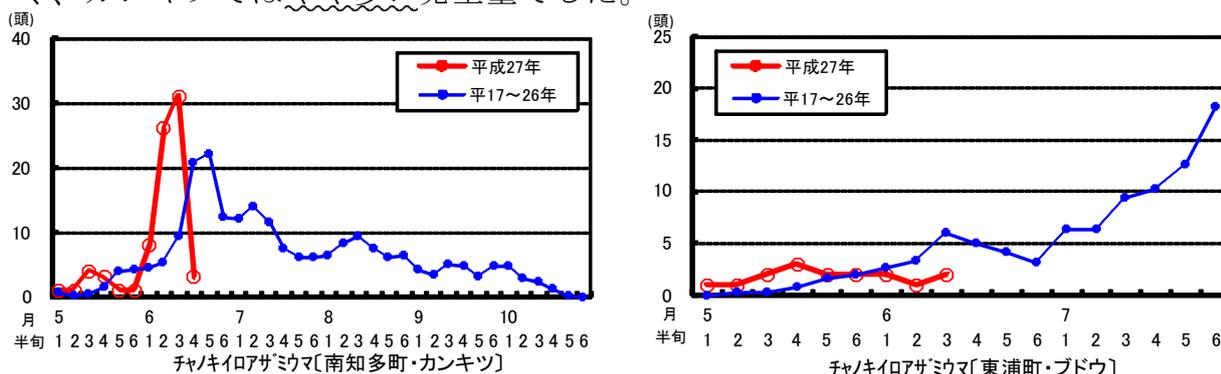


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

2 発生ピークの予測と防除

稲武を除いた地域における第3世代成虫の発生ピーク予測日は、ほぼ前年並の7月3日から11日です（表1）。成虫の発生ピーク時が防除適期ですので、発生が多いほ場では、表2を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	大府	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/15	6/12	6/16	6/10	6/13	6/15	6/14	6/15	6/15	6/18	7/7
第3世代	7/8	7/5	7/10	7/3	7/6	7/9	7/8	7/10	7/9	7/11	7/30
(前年)	7/9	7/6	7/11	7/5	7/9	7/11	7/10	7/11	7/10	7/14	7/11*
前年差	1日早	1日早	1日早	2日早	3日早	2日早	2日早	1日早	1日早	3日早	4日早*
第4世代	7/26	7/23	7/29	7/22	7/26	7/28	7/26	7/28	7/27	7/28	8/21

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。
6月29日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋、大府は前年値）を用いて計算。
前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
	パダンSG水溶剤
カキ	アドマイヤー顆粒水和剤
	ディアナWDG
	パダンSG水溶剤
カンキツ	アドマイヤー顆粒水和剤
	カスケード乳剤
	ハチハチフロアブル

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。